

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：木下の保育園 たまプラザ	種別：認可保育所
代表者氏名：菅谷 裕介	定員（利用人数）： 63名（利用人数：63名）
所在地：神奈川県横浜市青葉区新石川3-5-2	
TEL：045-479-7359	
ホームページ： <a href="https://www.kinoshita-hoiku.com/facility/tama-plaza">https://www.kinoshita-hoiku.com/facility/tama-plaza</a>	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2016年（平成28年）4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社木下の保育	
職員数	常勤職員：13名 非常勤職員：13名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士：17名 看護師：1名
	栄養士：1名 調理師：1名
施設・設備 の概要	（居室数）0歳児室、1歳児室、2歳児室、3歳児室、4歳児室、5歳児室、 事務室、調理室、調乳室、医務室
	（設備等）各部屋冷暖房完備

## ③理念・基本方針

保育理念：

生きる力を創る

保育方針：

協調性を持ち、他者を尊重し認め合う心を育てる

のびのびと自己表現ができる環境を提供する

試行錯誤をする中で考え創造し、自分で判断する力を養う

探索活動を大切にし、こどもの興味や関心に寄り添う

## ④施設・事業所の特徴的な取組

3～5歳児においては幼児フロアで一緒に過ごし、異年齢保育を実践している。その中でコーナー保育の取り組み、異年齢によるグループ活動を行い、異年齢保育を通しての子どもたちの育ちを意識している。

乳児においてはクラス別を中心に保育をしているが、朝夕の合同の時間帯、異年齢で過ごす時間も設けている。

幼児クラスにおいては朝の時間に調理職員が入り、その日に出る野菜の皮むきや種取りなどをし、月に3、4回、おやつを作る時間も設けている。

また、畑を整備し苗や種を植えて育て、収穫をして調理してもらい、食すまでの一連

の経験を通して食育活動に力を入れている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年6月10日（契約日）～ 令和2年3月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

#### 1) 子どもの思いや興味を引き出す環境作り

玩具や絵本は子どもたちの手の届く場所に置いています。子どもの興味を引き出すようキッチン・鏡台・病院・着せ替え等のコーナー設定もあり、そこには洗剤、レストランのメニュー表、化粧道具、ドレス、聴診器などをセットしています。

忍者ごっこが好きな子どもたちの思いに応え、段ボールや廃材を利用して忍者屋敷を作りました。忍者の課題をクリアすると次の手紙と一緒に手裏剣が届く仕掛けもあり、子どもの遊びが広がっていくようにしています。

職員は子どもたちの思いを汲み取りながら、自主性・主体性を育ていけるような環境作りをしています。

#### 2) 「食」を大切にする保育を実践しています

提供している給食は和食中心で、季節感のある献立にしています。食物アレルギーに配慮し、食材に小麦粉・乳製品・卵を使用していません。3歳児以上はビュッフェ形式の食事で、自分で食べられる量を考えて盛り付けをしています。

「年齢別食育年間計画」を作成し、計画的に行っています。調理担当と一緒にその日の食材の野菜の皮むきや種取りをしたり、園庭の畑で種まきから収穫後には調理してもらって食すまでの過程を体験しています。

年齢に応じたクッキングでは包丁を使う体験、味噌の仕込み、出汁の試飲などもしています。様々な活動を通して、子どもたちが食を楽しむことができるように工夫しています。

#### 3) 保育の質の向上に向けた園長の働きかけ

理念・方針に基づいた保育を実践し、保育の質の現状について職員会議などで意識づけを図っています。特に新しい体制としての年度始めの職員会議は理解をさらに深める機会としています。

園長は職員面談時の職員の意欲の確認のほか、会議での職員の発言や保育の姿勢からも確認しています。

### ◇改善を求められる点

#### 1) 中長期計画及びの研修計画作成

中長期的な事業の方向性を定めた計画は法人が作成をしています。しかし、数値目標や具体的な成果等の設定やその見直しを行っていません。3～5年の組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成などに関する計画の策定が期待されます。

法人の求める人材育成のための社内基準や条件などの確認ができません。基準や条件を示すことで、職員のキャリア形成やスキルアップに見通しを持てるようにすることが期待されます。

#### 2) 体系的な研修計画の作成

園で一時の職員退職など対応して、体制の整備に努めています。環境を整備して保護者の相談や意見が述べやすいようにして対応していますが、一部の保護者に理解されていません。安全確保を行い、子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を取り方に工夫が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園4年目にして初めて第三者評価を受審させていただきました。

評価項目を職員同士で確認し合い、評価をつけていきました。そうすることで保育の振り返りになり、課題を見出すことができ、良いところの確認もできました。

地域支援というところでは、育児支援、防災対策等、まだまだ至らない点があることがわかり、地域に根差した保育園となれるよう取り組んでまいります。

一つひとつの評価項目を評価者と確認し、良いところを引き出していただき、長所を改めて発見することができた一方、改善するところは改善していき、保護者の皆様の利用調査結果も含め、受審結果を真摯に受け止め、より良い保育園を目指していきたいと思えます。

この度、第三者評価を受審するに当たり、ご尽力いただいた評価機関の皆様、利用調査のご提出等、保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり